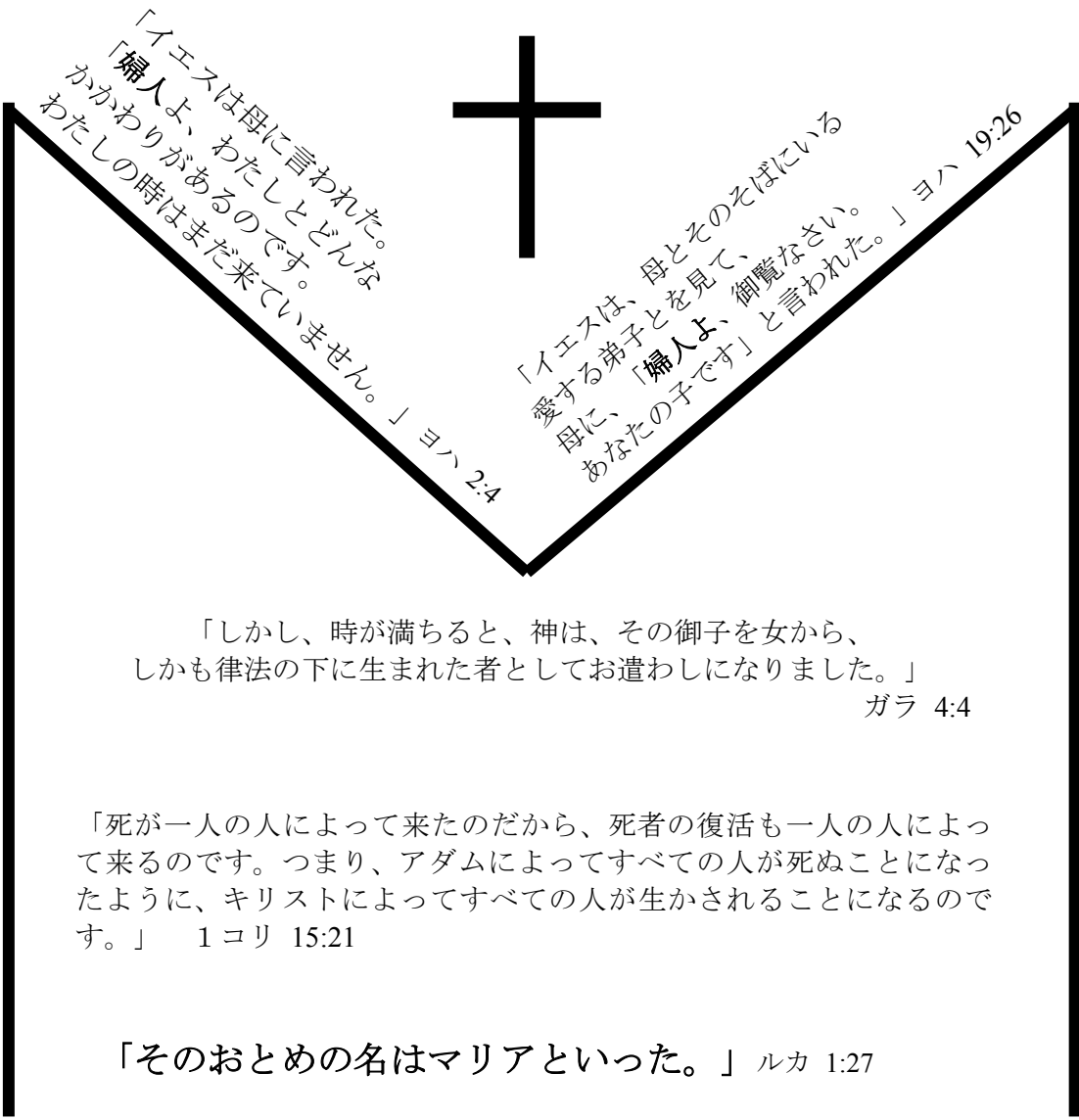


「また、天に大きなしるしが現れた。一人の女が身に太陽をまとい、月を足の下にし、頭には十二の星の冠をかぶっていた女は身ごもっていたが、子を産む痛みと苦しみのため叫んでいた。また、もう一つのしるしが天に現れた。見よ、火のように赤い大きな竜である。これには七つの頭と十本の角があつて、その頭に七つの冠をかぶっていた竜の尾は、天の星の三分の一を掃き寄せて、地上に投げつけた。そして、竜は子を産もうとしている女の前に立ちほだかり、産んだら、その子を食べてしまおうとしていた。女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖ですべての国民を治めることになつていった。子は神のもとへ、その玉座へ引き上げられた。女は荒れ野へ逃げ込んだ。そこには、この女が千二百六十日の間養われるように、神の用意された場所があつた。」黙 12:1-6

「彼らは皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた使 1:14



「イエスは母に言われた。
「婦人よ、わたしとどんな
かわりがあるのです。
わたしの時はまだ来ていません。」ヨハ 2:4

「イエスは、母とそのそばにいる
愛する弟子とを見て、
母に、「婦人よ、御覽なさい。
あなたの子です」と言われた。」ヨハ 19:26

「しかし、時が満ちると、神は、その御子を女から、
しかも律法の下に生まれた者としてお遣わしになりました。」
ガラ 4:4

「死が一人の人によって来たのだから、死者の復活も一人の人によつて来るのです。つまり、アダムによつてすべての人が死ぬことになったように、キリストによつてすべての人が生かされることになるのです。」 1 コリ 15:21

「そのおとめの名はマリアといった。」ルカ 1:27

「お前と女、お前の子孫と女の子孫の間にわたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕きお前は彼のかかとを砕く。」創 3:15
「アダムは女をエバ(命)と名付けた。彼女がすべて命あるものの母となつたからである。」創 3:20